



# 特定外来生物の

# 駆除

# にご協力ください

## 特定外来生物とは

外来生物のうち、生態系や人の生命・身体、農作物に特に被害を及ぼす、または及ぼすおそれのあるものとして「外来生物法」により指定された生物です。

栽培、生きたままの運搬、保管、譲渡、販売等が原則禁止されています。

### 生きたまま運搬できる場合の特例

1. 駆除の日時や場所、主催者等を事前に告知しているもの
2. 種子などが飛散しない措置がとられているもの
3. 処分を目的として焼却施設に運搬するもの

### 次の場合も持ち運びできます

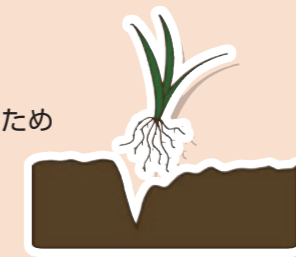
- ・切り花状態（根と種子がついていない）のオオハンゴンソウ、オオキンケイギク
- ・種子がついていないアレチウリ

## 駆除の基本

### 種子をつける前に駆除する

根からの抜き取りが効果的です。

種子をつけた後の駆除は、種をばらまいてしまうため逆効果です。



### 繰り返し駆除する

土の中に埋まっている種子が翌年以降も発芽するため、発芽がみられなくなるまで繰り返し駆除する必要があります。駆除した場所に在来種が回復していることが大切です。

### 密封して燃やすゴミ

種子や根が飛散ないように、密封できる袋に入れて枯死させ、燃やすゴミに出します。



## アレチウリ



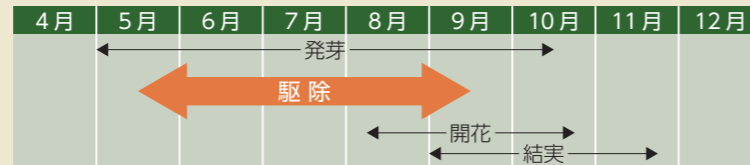
- 特徴** 北アメリカ原産の一年草。
- 日当たりを好み、成長が非常に早い。
  - つるを数～十数mの長さに伸ばし、周囲の植物を覆う。
  - 果実にはトゲがびっしりとつき、種子が1個入っている。
  - 1株当たり400～500個の種子をつける。
  - 冬には枯死するが、つるは絡み合ったまま残る。

**作戦** 種子を作らせない

### 駆除方法

①根から抜き取り  
長い発芽期間にあわせ、数回抜き取る（6月中旬、7月下旬、9月上旬など）  
\*一年草のため、根を抜き取れば確実に駆除できる

②地上部の刈り取り  
種子ができる前に数回刈り取る



## オオハンゴンソウ



- 特徴** 北アメリカ原産の多年草。
- 寒冷な地域、湿った環境を好む。
  - 花期は7～10月頃。6～10cmの黄色い花をつける。
  - 高さ1～3mになる。

**作戦** 根を残さない&種子を作らせない

### 駆除方法

①根から抜き取り  
成長する前（5～6月）に、根の破片からも再生するため、根ごと抜き取る。

②地上部の刈り取り  
多年草で根が太く、人力で抜き取るのは大変。種子をつける前（8月頃まで）に、刈払機で数回刈り取る。  
\*根を残すと地下茎が大きくなるが、結実を防ぐ。

③抜き取りと刈り取りの組み合わせ刈払機で刈り払い（7月・8月）、草丈が低くなったものを抜き取る（7月・8月・9月）。



## オオキンケイギク



- 特徴** 北アメリカ原産の多年草。
- 日当たりのよいところに生育する。
  - 花期は5～7月頃。5～7cmほどの黄色い花をつける。
  - 高さ30～70cm。
  - 茎は根元から束状に生え、ススキのように株立ちする。

**作戦** 根を残さない&種子を作らせない

### 駆除方法

①根から抜き取り  
種子ができる前（咲き始めの5月上旬）に、根の破片からも再生するため、根ごと抜き取る。

②地上部の刈り取り  
種子をつける前（5月頃まで）に、刈払機で数回刈り取る。  
\*切株から茎がのび、再び花をつける。

